

小諸蒸留所との共同企画 ふるさと納税限定ウイスキーボトル ラベルのデザインを決定

小諸市は「小諸の魅力」を全国に広めるため、小諸蒸留所（軽井沢蒸留酒製造株式会社）と共同して「ふるさと納税限定ウイスキーボトル」を開発しています。

7月16日に小諸蒸留所において、共同開発に向けた2回目のミーティングを開催し、ラベルデザインに小諸市名誉市民である小山敬三画伯の「紅浅間」を採用することが決定しました。

2回目のミーティング前半は、出席した市民が小諸蒸留所の蒸留エリアに入り、マスターブレンダーのイアン・チャン氏からウイスキーの蒸留過程の説明を受けました。また、前回のミーティングを受けて、開発するウイスキーのイメージをイアン・チャン氏が説明しました。



【イアン・チャン氏のコメント】

小諸の水や、自然豊かな環境を考えると、おいしいウイスキーを作るほうが難しいと思っている。

第1回のミーティングでは、小諸の特産物の桃や、りんごのジュースをテイastingしたが、同じように華やかで雑味がなくフルーティーで、飲んだ人が余韻を長く感じられるウイスキーになると思う。

ミーティング後半は、ボトルデザインについて話し合いました。小諸市のシンボルでもあり、市民がふるさとの山として親しむ「浅間山」をデザインに入れることに決め、絵は小諸市名誉市民である小山敬三画伯の「紅浅間」を採用することに決定しました。

【第2回ミーティング出席者（敬称略）】

小諸蒸留所 代表取締役社長 島岡高志

小諸蒸留所 マスターブレンダー イアン・チャン

中棚荘 女将 富岡洋子

丁子庵 店主 依田利宣

小諸市農ライフアンバサダー 武藤千春

小諸市長 小泉俊博



【小山敬三美術館所蔵「紅浅間」】



【小山敬三美術館所蔵「紅浅間」のラベル化について】

第1回ミーティングで小諸市のイメージを参加した市民で語り合ったところ、どの参加者からも真っ先に「浅間山」が挙げられました。

「毎朝、違う表情を見せる浅間山」、「ふるさとに帰ってきたと強く感じる浅間山」、「好きな見る角度が人それぞれ違う浅間山」など、語りつくせぬほどの想いがあります。

今回、「紅浅間」のラベル化を小山敬三画伯のご親族に相談したところ、小諸を応援するための

「ふるさと納税返礼品」という趣旨に同意をいただき、実現することができました。

小諸市ふるさと納税返礼品を通じて、全国に浅間山の雄大さや美しさ、また浅間山の伏流水からつくられるウイスキーの魅力をご堪能いただければと思います。

【小諸市立小山敬三美術館】



小山敬三美術館は、小諸市出身で文化勲章受章、小諸市名誉市民である洋画家、小山敬三画伯が1975年、美術館を建設し、作品と共に小諸市に寄贈したもので、画伯の代表作品、浅間山、城シリーズ、さらに肖像画をはじめとした、油彩、水彩、デッサン画など素晴らしい作品を展示しています。

また建物も建築界で文化勲章を受章した村野藤吾氏の設計によるもので、絵画・建物・眺望の集合美を備えた美術館です。

■ふるさと納税に関する問い合わせ先

小諸市役所 企画課 企画広報係 担当：鈴木、柴崎

Tel0267-22-1700（内線 2354） Eメール joho@city.komoro.nagano.jp

■ウイスキーに関する問い合わせ先

小諸蒸留所ふるさと納税窓口

Tel0267-48-6086 Eメール info@komorodistillery.com